

# おうめ 市議会だより

No. 249  
 令和2年(2020年)2月15日  
 発行/青梅市議会  
 電話番号/0428-22-1111(代)

主な内容		
12月定例議会のあらまし	}	1
市長提出議案の主な内容		
一般質問	}	2~5
審議された議案と議決結果		
陳情の審議結果		
特別委員会・全員協議会から	}	6
2月定例議会会議予定		

令和元年  
 青梅市議会定例会  
 12月定例議会

負担付き寄付の受納など  
 全21議案を可決しました



吉川英治記念館内の母屋 母屋・本館・館内収蔵品等の負担付き寄付を受納する。

令和元年市議会定例会12月定例議会は、12月9日から12月24日までの16日間の期間で開催されました。本会議初日には、浜中市長による2期目の市政運営に対する所信表明演説が行われました。

一般質問は、12月19日、20日および23日の3日間にわたって行われ、20人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2~5面に要旨を掲載)。

今定例議会に上程された市長提出議案は、補正予算1件、条例11件、契約2件、その他7件の計21議案で、いずれも原案どおり可決されました(6面を参照)。

## 市長提出議案の主な内容

■令和元年度青梅市一般会計補正予算(第3号)  
 歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億1252万3千円を追加し、522億909万8千円とするほか、債務負担行為を1件変更しよとするもの。

■青梅市地域保健福祉センター条例を廃止する条例  
 (施行日 令和2年4月1日)

青梅市公共施設等総合管理計画にもとづく公共施設のあり方に関する検討結果を踏まえ、青梅市地域保健福祉センターを廃止しようとするもの。

■青梅市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(施行日 公布の日)

子ども・子育て支援法および特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。

【改正の内容】  
 第2条で用語および定義の変更、第13条では利用者負担額における副食費の取扱規定の追加、第42条では特定教育・保育施設等との連携の見直しおよび特別保育所型事業所内保育事業者の規定の追加、附則第5条では連携施設の経過措置に関する猶予期間の見直し、その他所要の規定の整備を行う。

■青梅市営住宅条例等の一

部を改正する条例(施行日 令和2年4月1日)  
 市営住宅への入居の円滑化を図るため、連帯保証人の規定を削除するとともに、公営住宅法の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。

■青梅市下水道事業の設置等に関する条例(施行日 令和2年4月1日)

地方公営企業法の規定にもとづき、青梅市下水道事業の設置およびその経営の基本等に関し必要な事項を定めようとするもの。

【制定の内容】  
 第1条では趣旨を、第2条では事業の設置を、第3条では法の財務規定等の適用を、第4条では経営の基本を、第5条では重要な資産の取得および処分を、第6条では議会の同意を要する賠償責任の免除を、第7条では議会の議決を要する負担付きの寄付の受領等を、第8条では会計事務の処理について、第9条では業務の状況の公表を、第10条では委任について定める。

■青梅駅自転車等駐車場、河辺駅北口自転車等駐車場および河辺駅南口自転車等駐車場の指定管理者の指定について(指定の期間 令和2年4月1日から令和5年3月31日まで)

■負担付き寄付の受納について  
 市の名誉市民である吉川英治氏の活躍の記録を後世に残すため、吉川英治記念館と館内に収蔵されている自筆原稿、書籍、絵画等について、負担付きの寄付を受納しようとするもの。



## 議会日誌

### 12月定例議会

議会期間(16日間)

12月9日~12月24日

9日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、市長所信表明演説、議案審議、陳情審議)

11日 総務企画委員会

12日 議会運営委員会

13日 環境建設委員会

16日 予算決算委員会

19日 本会議(一般質問)

20日 本会議(一般質問)

23日 本会議(一般質問)

24日 本会議(委員会議案・陳情審査報告、議案審議、閉議)

東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会



# 質問

## 浜中市政、2期目の市政運営の心構えについて問う —今回の市長選挙を振り返り、その経過、結果を踏まえて—

島崎 実 議員 (自民)

議員 ①過去の最低の投票率となった要因をどう捉えているか。  
②市政2期目の心構えを伺う。  
市長 ①その時の選挙における争点、関心の高さ、当日の気候など、様々な要因が関わっているといわれており、一概に説明することは困難と考える。

### ケミコン跡地の活用計画について問う

議員 ①「市民の声を十分に聞き、大胆に見直す」という市長の発言の意味を伺う。  
②音響の良い、独立した固定式観客席のホールも検討に加えていただきたいがどうか。  
③市民の意見をどう反映させ、

## 子どもの権利条約について問う

湖城 宣子 議員 (公明)

議員 ①子どもの権利条約に関する市の事業はあるか。  
②子どもの権利条約を学ぶ機会はあるか。  
③大人への啓発はどうか。

市長 ①子どもの権利条約の尊重の趣旨を捉えた事業として、子ども議会や児童虐待防止講演会等を実施している。  
②全国中学生人権作文コンテスト東京大会への参加や小学生対象の人権教室を実施している。  
③市のホームページや子育てアプリ、児童虐待防止に関するパンフレットの配布等を通じて、広く周知、啓発に努めている。  
④他自治体の動向を踏まえ、研

議員名の( )内の表示は、会派名または党派名です。  
(自民)…自民クラブ  
(公明)…公明党  
(フォーラム)…市民フォーラム青梅  
(共産)…日本共産党青梅市議団  
(国民)…国民民主党  
(みどり)…みどりのオンブズマン  
(立憲)…立憲民主党

結論をだしていくのか。

市長 ①大胆に発想を転換し、活用構想のスケジュールにとられることなく、市民意見を丁寧に聴取し、より慎重に検討を進めることとした。

②今年度実施した市民アンケートでは、多機能型ホールの支持が最も多く、また、ホール不要という回答も2割を超えていた。この結果のみで判断はしないが、十分留意しながら、市民意見や財政状況等も幅広く考慮し、施設のあり方について今後の議論の方向性を決定していく。

③来年度は、無作為抽出で選任した市民にも委員となつていただき、新市民ホールに関する懇談会を設置し、意見を伺っていく。究していく。

④母子手帳へ子どもの権利条約を掲載、子どもの権利条約の条例の制定をどうするか。  
⑤子どもの権利条約を踏まえた、2期目の市長の決意を伺う。

### 防災・減災対策について問う

議員 ①住民参加型の避難所運営マニュアル、開設キットの作成の進捗よく状況を伺う。  
②段ボールベッドを備蓄しているか。  
③GPS機能に対応した防災マップの新設について考えを伺う。  
④避難場所の開設基準、環境の改善について伺う。

市長 ①32避難所中、作成済み8カ所、作成中12カ所、自主

## 台風第19号による被害からの早期復旧について問う

議員 ①今回の補正予算で災害復旧のための準備費を計上しているが、足りない場合、さらなる補正も必要と考えるがどうか。  
②国や都からの支援の状況は。  
③避難場所にテレビを設置できないか。  
④梅の公園の復旧計画を伺う。  
⑤今後の防災対策を伺う。

市長 ①不足が生じる場合には改めて予算を補正するなどし、復旧には万全の対応をしていく。

②救助に要する経費や、施設の復旧に要する経費、廃棄物の処理に関する経費の一部、もしくは全部が国や都から交付される見込みである。  
③災害時の情報収集は重要であるため、施設の情報や備品等の現状を踏まえた上で、検討していく。

④年度内に全ての工事を完了したい。梅まつりを控え、早急に工事を進める。  
⑤さらなる自助、共助の意識の醸成に努めるとともに、今回の対応を総合的に検証し、災害に強いまちづくりを推進していく。

⑥防災組織と連携し、進めている。円滑な避難所の開設、運営のために必要な筆記用具やマニュアル等を収納した避難所開設ボックスの配備も進めている。  
⑦災害時の状況に応じて速やかに調達できるように努める。

⑧GPSにより、所在地が警戒区域内かどうかや、避難場所を確認できる青梅商工会議所のスマートフォンアプリ「ハザードマップ組」等の周知に努める。  
⑨避難勧告等を発令した際に必要に応じて開設する。台風第19号の際に対応した職員の意見も参考に、ハードとソフトの両面から、安心できる避難場所の運営が図れるよう努めていく。

## 青梅市の介護予防事業への取り組みについて問う —健康寿命の延伸に向けて—

天沼 明 議員 (自民)

議員 ①健康寿命の延伸に向けた具体的な施策を伺う。  
②総合事業の現在の状況を伺う。  
③梅っこ体操を周知するための方策と介護予防リーダーへの支援のあり方について考えを伺う。  
④団塊の世代が全て75歳を迎える2025年問題に向けてどのような対応をしていくのか。

市長 ①健康体操の取り組みとして、現在、実施している各種体操をアレンジし、幅広い年齢

層を対象とした健康体操教室を実施する。また、子どもから大人までが親しめる梅っこ体操2の制作、フレイル予防事業の充実に取り組みしていく。  
②「運動などによる生活機能向上のためのサービス」、「家事援助や身体介護を行うサービス」、「日常生活動作・ADLの改善

ぎ等を飼育している。児童が当番でえさや水やり、掃除を行っている。  
②休日等の動物の管理の問題、アレルギーの問題、衛生面の管理の問題が課題である。  
③市内動物病院で診察をしてもらい、治療費は教育委員会で負担している。  
④動物の飼育方法や、動物が病気になった時の対応については近隣の動物病院に連絡し、対処方法を聞いていく。「動物の正しい飼育の仕方」等の講演会を開催するなど、学校と獣医師会が一層の連携を図れるよう、来年度の予算措置を検討している。  
⑤動物を育てることは、責任感や生命の尊さを学べ、児童の成長に必要な体験であるとともに、貴重な機会となると考えている。引き続き、動物との触れ合いを大切にした、教育活動が展開されるよう、学校への働きかけを進めていく。

## 学校飼育動物の現状について問う

山田 敏夫 議員 (自民)

議員 ①学校飼育動物の現状を伺う。  
②学校飼育動物の課題を伺う。  
③動物が病気になった場合の治療と費用負担はどうしているか。  
④獣医師会との連携、委託事業についての見解を伺う。

⑤動物とのふれあいを通して、動物愛護精神、教育効果の向上に取り組みすべきではないか。  
教育長 ①学校教育の一環として動物を飼育している学校は、小学校9校で、にわとりやうさ

にに向けた短期集中サービスの事業を実施しており、短期集中サービスは利用が伸び悩んでいるため、さらなる周知に努めている。梅っこ体操の周知・普及に努めている。今後、活動場所の確保と、その費用負担について検討していく。

## 用語の解説

- 注1…マーケットサウンディング (3ページ・阿部議員)  
対話を通じ、民間業者に事前に広く意見や提案を求める対話型の市場調査のこと。
- 注2…6次産業化 (4ページ・山崎議員)  
農林漁業(1次産業)と、製造業(2次産業)、小売業等の事業(3次産業)との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み。
- 注3…住民避難保険 (4ページ・結城議員)  
市町村における避難準備、避難勧告以上の避難情報を発令した場合に、避難所等の設置に要した費用が保障される保険制度。
- 注4…余水吐放流 (4ページ・結城議員)  
台風等による大量の水の流入に備えて、速やかに水を放流するゲート(余水吐)からの放流。
- 注5…テストセンター方式 (4ページ・結城議員)  
受験者が全国各地の260カ所を超える会場で、一定期間、都合に合わせて受験できる方式。
- 注6…ジェットパッカー車 (5ページ・ぬのや議員)  
タンクローリータイプの運搬車両。気密性が高い。
- 注7…飛灰 (5ページ・ぬのや議員)  
燃焼ガスとともに浮遊し、主に集じん装置によって回収されるもの。
- 注8…関係人口 (5ページ・野島議員)  
移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

## 青梅市の地域包括ケアシステムの構築に向けた諸課題について問う

山内 公美子 議員 (公明)

議員 ①在宅医療、医療介護の連携について進捗よく状況を伺う。  
②在宅医療体制の2025年に向けた見込みを伺う。  
③生活支援体制の構築をどう進めているか。課題はあるか。  
④介護人材不足の今後の対策は。  
⑤介護ボランティア制度の導入について、現在の検討状況は。  
⑥地域包括ケアシステム構築のために、横断的に取り組む組織、また、既存の組織の充実など必要と考えるがどうか。

市長 ①青梅市多職種ネットワーク連絡会の設置や、西多摩地域広域行政協議会での講演会の開催等を行っている。  
②西多摩医療圏の方向性を踏まえ、関係機関と連携し、保健・医療体制の確保に努めている。  
③生活支援コーディネーターによる地域での勉強会の開催や、自治会等に協力いただき、地域課題の抽出や社会資源の掘り起こし等を行っている。参加者が限定的なこと等が課題である。  
④おうち生活サポーターの養成等のほか、今年度実施する介護事業者への調査の結果を踏まえ、必要な対策を検討していく。  
⑤高齢者と介護事業者に対し今年度行う調査の結果を踏まえ、導入に向けた検討を行っていく。  
⑥生活支援コーディネーターや認知症コーディネーターを配置し、医療と介護の連携に力を注いできたが、さらに横断的な体制づくりが必要だと考えている。

議員 ①在宅医療、医療介護の連携について進捗よく状況を伺う。  
②在宅医療体制の2025年に向けた見込みを伺う。  
③生活支援体制の構築をどう進めているか。課題はあるか。  
④介護人材不足の今後の対策は。  
⑤介護ボランティア制度の導入について、現在の検討状況は。  
⑥地域包括ケアシステム構築のために、横断的に取り組む組織、また、既存の組織の充実など必要と考えるがどうか。



### ポッパルト市との姉妹都市提携について問う —おうめワインポッパルトの雫の名称復活を—

山崎 哲男 議員 (自民)

議員 ①「おうめワイン・ポッパルトの雫」の販売にいたる経緯と歴史について伺う。

②今後のぶどうの木の育成について見解を伺う。栽培の拡大は③法律改正により、醸造先が市内でないためワインの名称に「おうめ」を表記できなくなつた。市内に醸造所を設けおうめワインの名称を復活できないか  
④「ポッパルトの雫」をふるさと納税の返礼品に加えては。  
市長 ①昭和54年に友好の証と

### ICTを使った情報教育の推進について問う

大勢待 利明 議員 (フォーラム)

議員 ①現状を伺う。

②今後の方針を伺う。  
③先進的な事例を研究すべきと考えるがどうか。  
④学校に限定せず、教育委員会が取り組んでいる事例を伺う。

教育長 ①タブレット型パソコンやプロジェクト等を配置している。また、第四小学校をプログラミング教育推進校に指定し、研究成果を発表を行った。  
②ICTの環境整備の充実と教

### 今井土地区画整理事業について問う —農業による産業振興も選択肢に—

ひだ 紀子 議員 (みどり)

議員 ①物流拠点はやがて飽和点に達するが、その時は開発を考へ直すのか。

②開発で税収が増えても国からの交付金は減らされるのではないのか。市の負担で作る都市計画道路はいくらかかるのか。  
③増収も道路への支出も明確でないが、開発を推進するのか。  
④広大な農業振興地域を物流拠点にするにあたり、都の求める農業振興策はどのようなものか。  
市長 ①企業から供給面積を大幅に上回る進出意向があり、事業化は十分可能と考えている。

### 圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備について問う

議員 ①これまでの成果、現状、今後について伺う。

②スケジュールの方向性を伺う。  
③企業等からの問い合わせの状況はどうか。  
④経済効果について伺う。  
⑤どのような物流拠点を望むか。

市長 ①農振農用地除外の協議は、都と国の協議の段階にあり、都市計画道路の調査や概略設計、地籍調査を行っている。今後は、引き続き、国との協議を都と連

### 文化交流センターの機能・建物のふぐあいについて問う

議員 ①さまざまな不具合の改善をどう進めているのか。

②地下1階西側トイレの浸水被害は工事中の地下水による事故と関連性はあるのか。対策工事は市の負担なしでできるのか。  
③市民は地下活動室などにしっかりと防音を求めている。対応は。

教育長 ①すぐに改善できるものは、利用者の利便性向上のため改善を図ってきている。  
②共に地下の湧水に起因すると考えている。徹底した対策を講じていく。費用は市費のものもあるが、請負業者の負担による雇用創出等も期待される。  
③時代の先端を行く物流拠点をめざし、支援を進めていく。

### 青梅市の行財政運営について問う

議員 ①所信表明では行財政運営について、AI・RPA等の先進技術の導入や公民連携等の項目が取り上げられたが、その中の1つであるモーターポート事業の売り上げ向上策を伺う。

②市税増収への取り組みを伺う。  
市長 ①高グレード競走の誘致、電話投票の売り上げの向上、広域発売の充実、多摩川本場における集客増に取り組む。

②青梅インターチェンジ北側における物流拠点の整備に向けた

### 教員の学校内での喫煙について問う

議員 ①市内中学校のシャワー室をたばこ部屋にしていた教員がいたことに対する教育委員会の対応を伺う。

②児童生徒の健康被害に対する教員の認識が不足し、またモラルが崩れてきているのでは。  
③全学校を調査するべきでは。

教育長 ①校長会等で、報告し、教員の服務管理の徹底について改めて指導した。喫煙をした教員、当該校の校長へは指導室長より口頭注意を行った。地域、保護者への報告、お詫びは、今学期中に手紙で行っていく。  
②12月の服務事故防止月間際し、都の研修内容の他に、「学校における受動喫煙対策」を追加する。

### 台風第19号等による青梅市の災害対策について問う

結城 守夫 議員 (公明)

議員 ①小河内ダム放流の状況と改正水防法(千年に一度の降

取組みは、将来の企業誘致、産業の振興、雇用機会の拡大へとつながるもので、税源のかん養として、最も望ましい形であると認識している。

市長 ①10月11日午後2時から余水吐放流を開始、12日午前5時に洪水警戒態勢、午後7時20分に最大放水量となった。防災ハンドブックを活用していく。  
②成木地区内の市民センター、小・中学校は土砂災害警戒区域や浸水予想区域内にある。喫緊の課題であり、自治会館等の活用など、自治会と相談していく。  
③保険内容や加入に至った自治体の現状等の情報収集に努める。  
④今後、施設の建て替えや改修等に合わせ設置を検討していく。

### 台風第19号の被害を教訓に、災害対策の充実を

藤野 ひろえ 議員 (共産)

議員 ①今後の対策に市民意見をどう生かしていくのか。

②避難場所の実態、課題を伺う。  
③要援護者への対応の現状と課題を伺う。  
④大雨で防災行政無線が聞こえないことへの対応を。  
⑤市営住宅へ避難されている方の状況、人数を伺う。電気やガス等の対応はどうしたのか。  
雨量想定)の周知について伺う。  
⑥成木市民センター等が避難場所に利用できなかった理由と今後の対策についての考えを伺う。  
⑦避難勧告等の「空振り」を補填する住民避難保険へ加入して、避難施策促進を図ってはどうか。  
⑧長期停電対策として太陽光発電と蓄電池を組み合わせた非常用電源を公共施設に設置しては。  
⑨市災害対策政策の根幹を成す防災基本条例制定を検討しては。

### 青梅市の職員採用制度の改革について問う

議員 ①正規職員採用の新たな制度である平成31年度実施のラストセンター方式の評価等は。

②就職氷河期世代の正規職員採用を新たに実施して、採用後は青梅市への転入を依頼しては。  
③会計年度任用職員では、市の方針で一日当たりの勤務時間が45分間短縮される予定なので、平均年収は減額となるのでは。  
市長 ①メリットは受験者の倍増、全国から応募があったこと、2回の面接でより人物重視の採用ができたこと。デメリットは最終合格者辞退率の増加である。  
②東京都の職員採用実施状況について情報収集を行い、多摩各市の動向等も調査し、検討する。  
③会計年度任用職員は期末手当が支給されることになる。また1カ月間の勤務空白期間もなく

流入物などの収集を行った。中学生の自転車通学への補助で子育て支援の充実を

### 犯罪被害者支援施策の実施について問う

議員 ①犯罪被害者等基本法の基本理念と政策等の概要を伺う。

②市が実施している支援施策は。  
③東京都条例が令和元年度中に制定される予定である。市条例制定について市長の見解を伺う。  
市長 ①犯罪被害者等のための施策を総合的かつ計画的に推進し、犯罪被害者等の権利、利益の保護を図ることを目的とする。  
②相談窓口の設置、警察署から相談員を招いた特設相談会の開催、制度周知のためのパネル展等を行っている。今後も犯罪被害者支援の周知、啓発に努める。  
③都条例が制定されることで、今後、犯罪被害者支援の施策が一層推進されると考えるので、都が制定する条例内容を確認し、先進自治体を参考にしながら、市の条例化も含め研究していく。

⑥災害ごみへの対応を伺う。  
市長 ①懇談会や市民の声等で台風に関する意見をいただいている。今後、検証を進めていく予定である。  
②検証を進めているところである。市による送迎の実施は、難しい。  
③平時や災害時の避難行動要支援者名簿の活用については、自主防災組織等の地域支援者ごとに対応いただいております。地域での取り組みが継続されることが肝要であると捉えています。  
④引き続き、音声応答サービスを周知していく。  
⑤市営住宅を一時使用された方には4世帯7人で、電気、ガス等については、市が対応した。  
⑥罹災証明に基づく指定収集袋の配布や粗大ごみの収集を行ったほか、罹災証明がない場合でも、風による飛来物や川からのたな補給は考えていない。  
⑦条例を制定した自治体の状況を注視し、研究していきたい。

### 犯罪被害者支援施策の実施について問う

議員 ①犯罪被害者等基本法の基本理念と政策等の概要を伺う。

②市が実施している支援施策は。  
③東京都条例が令和元年度中に制定される予定である。市条例制定について市長の見解を伺う。  
市長 ①犯罪被害者等のための施策を総合的かつ計画的に推進し、犯罪被害者等の権利、利益の保護を図ることを目的とする。  
②相談窓口の設置、警察署から相談員を招いた特設相談会の開催、制度周知のためのパネル展等を行っている。今後も犯罪被害者支援の周知、啓発に努める。  
③都条例が制定されることで、今後、犯罪被害者支援の施策が一層推進されると考えるので、都が制定する条例内容を確認し、先進自治体を参考にしながら、市の条例化も含め研究していく。

賠償責任保険に加入させる取り組みを検討してはどうか。  
教育長 ①7校で420人が自転車通学をしている。  
③保護者からの要望は教育委員会としては特に受けていない。  
④自転車通学する生徒を対象に検討している。  
市長 ②自転車通学者の安全を確保するため、現在、ヘルメットを無償貸与しているため、新たな補助は考えていない。  
⑤平均年収では増額となる。

スポーツ振興について問う

みねざき 拓実 議員(共産)

議員 ①市職員がスポーツや文化活動をする時間を保証するため、残業時間削減の取り組みや有給休暇等の消化状況を伺う。

②スポーツを楽しむ運動を習慣化させるための意識啓発への取り組みを伺う。

③学校体育館の冷房化に取り組みむべきと考えるがどうか。

④障がい者が行うスポーツの発展のための取り組みを伺う。

市長 ①時間外勤務削減プロジェクトチームにおいて検討した内容により、平成29年度以降取り組みを続けてきている。有給平均取得実績は、平成30年度では12・7日である。

②スポーツ・レクリエーション

農業振興

今寺天皇塚水田地域の意向調査結果を踏まえて

下田 盛俊 議員(自民)

議員 ①今後の展開を伺う。

②今寺・藤橋水利組合や東京都と協議を進める上での課題は。

③速やかに事業を進めていただきたいが、スケジュールを伺う。

市長 ①水利組合への意向調査の結果を踏まえ、協議を重ねな

フエステイバルの開催や総合体育館での当日参加型教室の実施等、生涯を通じたスポーツの習慣化に向け取り組んでいる。

④パラスポーツ体験会や審判員、指導者の養成を行っている。

教育長 ③トイレ改修等を優先して整備しており、体育館の冷房化は今後の課題と捉えている。

交通弱者対策について問う

議員 ①所信表明で述べた「個別の事情に寄り添った移動手段の充実を検討し、交通弱者対策を推進する」とは具体的に何か。また、移動手段の検討方法や財政負担の問題への考えを伺う。

②「とんがり事業案」に書かれた交通弱者対策のアイデアにどのような対応していくのか。

③今井のサイクルアンドバスライドの認知度を上げるためにどのような工夫をしたのか。

市長 ①現段階では具体的な運行形態等については定めていない。公共交通協議会において協議いただきながら、財政負担に

から、東京都の小規模土地改良事業を活用して、水田の集約化や水路改修、畑地化のために必要な暗きょ排水設備等の設計計画を実施する予定である。その後、小規模土地改良事業や国の農地耕作条件改善事業等の活用について、東京都と協議しながら、効果的で効果的な補助事業を選択し、事業を進めていく。

②各地権者の合意を得ることが最も大変な作業になる。水利組合の協力を得て、丁寧に説明し、合意を得るよう努力していく。

③はつきりとした期間は未定だが早期実現に向け努力していく。

防災対策としての大門川改修と霞川拡幅整備に伴う諸課題について問う

議員 ①大門川の改修の今後は、霞川拡幅整備に伴う橋の架け

ついても検討していく。

②今後、必要性や事業の実施効果等を検討し、実施可能な状態に検討が進んだものから、総合戦略の新規事業として適宜組み込んでいくこととしている。

③総合防災訓練の会場でパネル展やパンフレットの配布、アンケート調査を行った。その結果を踏まえ、利用者の利便性の良い新たな候補地を選定して、サイクルアンドバスライドの試行をしたいと考えている。

副市長 ③ジェットパッカー車では運搬できない灰もあること、安全対策を行っていること、各清掃工場の個々の事情があることから、青梅市からの発言は考えていない。

議員 ①青梅市内を運搬ルートとする車両の数、種類を伺う。

②ダイオキシン汚染が起こり得る今後の対応について伺う。

③取水せきや境橋上流の橋の改修も必要と考えるがどうか。

東京たま広域資源循環組合関係の焼却灰輸送車について問う

経路のダイオキシン汚染防止に関連して

ぬのや 和代 議員(立憲)

議員 ①青梅市内を運搬ルートとする車両の数、種類を伺う。

②ダイオキシン汚染が起こり得る今後の対応について伺う。

③取水せきや境橋上流の橋の改修も必要と考えるがどうか。

市長 ①今年度は霞川との合流地点から上流約80メートルの左岸を改修拡幅する。

②既存橋りょうを撤去した後新しい橋りょうを施工するため、その間の通行への対応が課題となる。今後、西多摩建設事務所と協議していく。西浦橋は隣接する橋りょうとの間隔が狭いため廃止も含め検討している。今後は地域の方の意見を伺いながらさらに検討していく。

③来年度今寺・藤橋水利組合の取水せきから境橋付近までの詳細設計を予定している。その中で取水せきの影響や谷野川の合流方法等について検討し、令和3年度から整備を行いたいと考えている。

副市長 ③ジェットパッカー車では運搬できない灰もあること、安全対策を行っていること、各清掃工場の個々の事情があることから、青梅市からの発言は考えていない。

議員 ①都市計画道路以外の生活道路の改修への考え方を伺う。

②地権者が変わる等で用地の一部を取得できなくなった場合、その箇所がボトルネックになってしまう。市道改修の用地を事前に取得することを検討してはどうか。

③軟弱地盤への整備の工夫は。市長 ①自治会からの要望等に基づき、その路線ごとに線形等を検討した上で沿道の地権者の了解をいただき、行っている。

②道路の線形等が決定する前に先行して行うことは困難である。市道改修等については、円滑に進められるよう取り組んでいく。

議員 ①青梅市の人口ビジョンの分析、今後の取り組みを伺う。

②関係人口のつながりを新たに築いてはどうか。見解を伺う。

市長 ①「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定めた事業を実施してきたが、成果が

河辺駅北口ロータリーの整備について問う

議員 ①東京都の補助金を活用した、プース型公衆喫煙所の設置について考えを伺う。

②パーテーションの喫煙所では副流煙対策として意味がないと考えるが、市の考えを伺う。

③西側歩道内のベンチの再設置について検討してはどうか。

市長 ①設置費用が都の補助金額を大幅に超えてしまうこと等から、厳しい財政状況を勘案し、現状の施設で対応していく。

③ベンチでの飲酒や市民への声掛け等の迷惑行為に対し、看板等での注意喚起、警察署への相談等行ってきたが、改善が見られなかったため、やむなく撤去した。ベンチがなくなり不便との意見もあるが、迷惑行為がなくなつてよかつたという意見が多く、現状では再設置する考えはない。

議員 ①都市計画道路以外の生活道路の改修への考え方を伺う。

②地権者が変わる等で用地の一部を取得できなくなった場合、その箇所がボトルネックになってしまう。市道改修の用地を事前に取得することを検討してはどうか。

③軟弱地盤への整備の工夫は。市長 ①自治会からの要望等に基づき、その路線ごとに線形等を検討した上で沿道の地権者の了解をいただき、行っている。

②道路の線形等が決定する前に先行して行うことは困難である。市道改修等については、円滑に進められるよう取り組んでいく。

議員 ①青梅市の人口ビジョンの分析、今後の取り組みを伺う。

②関係人口のつながりを新たに築いてはどうか。見解を伺う。

市長 ①「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に定めた事業を実施してきたが、成果が

所信表明を受けて

小山 進 議員(自民)

副市長 ②密閉型の喫煙所が理想ではあるが、まずは都の補助金を活用し、青梅駅等の喫煙所へのパーテーション設置を優先していただく考えである。

議員 ①先の市長選挙では、積極的な支持2割という結果であったが、今後どう支持を増やしていくのか。

②築いてきた基盤をどう「つながら」よう取り組むのか。

市長 ①市民からいただいた様々な意見は正面から受け止め、人口推移に影響を与えるまでに至っていない。第2期総合戦略では、新たな事業の追加、KPIの見直し、市民参加の推進を図り、目標人口を維持できるように取り組み、青梅ならではの地方創生を図っていく。

②関係人口を創出する取り組みは、地方創生の推進に当たり重要な柱となるとともに、今まで気がつかなかった本市の魅力が発見する契機にもなり得るものと考えている。関係人口を獲得し、これまでとは異なる視点のまちづくりの担い手を増やすことで、本市のさらなる飛躍を図る。

議員 ①今回の台風第19号では、ペット同行避難についてこれまでの訓練をどう生かしたのか。

②ペットを同伴できる避難場所を設けたのか。課題はあるか。

副市長 ②密閉型の喫煙所が理想ではあるが、まずは都の補助金を活用し、青梅駅等の喫煙所へのパーテーション設置を優先していただく考えである。

議員 ①先の市長選挙では、積極的な支持2割という結果であったが、今後どう支持を増やしていくのか。

②築いてきた基盤をどう「つながら」よう取り組むのか。

市長 ①市民からいただいた様々な意見は正面から受け止め、人口推移に影響を与えるまでに至っていない。第2期総合戦略では、新たな事業の追加、KPIの見直し、市民参加の推進を図り、目標人口を維持できるように取り組み、青梅ならではの地方創生を図っていく。

②関係人口を創出する取り組みは、地方創生の推進に当たり重要な柱となるとともに、今まで気がつかなかった本市の魅力が発見する契機にもなり得るものと考えている。関係人口を獲得し、これまでとは異なる視点のまちづくりの担い手を増やすことで、本市のさらなる飛躍を図る。

議員 ①今回の台風第19号では、ペット同行避難についてこれまでの訓練をどう生かしたのか。

②ペットを同伴できる避難場所を設けたのか。課題はあるか。

副市長 ②密閉型の喫煙所が理想ではあるが、まずは都の補助金を活用し、青梅駅等の喫煙所へのパーテーション設置を優先していただく考えである。

議員 ①先の市長選挙では、積極的な支持2割という結果であったが、今後どう支持を増やしていくのか。

②築いてきた基盤をどう「つながら」よう取り組むのか。

市長 ①市民からいただいた様々な意見は正面から受け止め、人口推移に影響を与えるまでに至っていない。第2期総合戦略では、新たな事業の追加、KPIの見直し、市民参加の推進を図り、目標人口を維持できるように取り組み、青梅ならではの地方創生を図っていく。

②関係人口を創出する取り組みは、地方創生の推進に当たり重要な柱となるとともに、今まで気がつかなかった本市の魅力が発見する契機にもなり得るものと考えている。関係人口を獲得し、これまでとは異なる視点のまちづくりの担い手を増やすことで、本市のさらなる飛躍を図る。

議員 ①今回の台風第19号では、ペット同行避難についてこれまでの訓練をどう生かしたのか。

②ペットを同伴できる避難場所を設けたのか。課題はあるか。

副市長 ②密閉型の喫煙所が理想ではあるが、まずは都の補助金を活用し、青梅駅等の喫煙所へのパーテーション設置を優先していただく考えである。

議員 ①先の市長選挙では、積極的な支持2割という結果であったが、今後どう支持を増やしていくのか。

②築いてきた基盤をどう「つながら」よう取り組むのか。

市長 ①市民からいただいた様々な意見は正面から受け止め、人口推移に影響を与えるまでに至っていない。第2期総合戦略では、新たな事業の追加、KPIの見直し、市民参加の推進を図り、目標人口を維持できるように取り組み、青梅ならではの地方創生を図っていく。

反省すべきところは反省し改めていかなければならない。市民の声を十分に生かすためにも、市民とともに市政運営を進めていく考えを再認識した。今年、日本を盛り上げたラグビーと同様に、私も市民の皆様とともに本市の飛躍を目指し、多くの方々とスクラムを組み、ともに多くのトライを上げていきたい。

②「地域でつながる」、「親子とつながる」、「安心とつながる」、「未来とつながる」、「市民とつながる」各視点に即し、方策を進めていく。これからの4年間、「ひとつづくり」と、それらを「ひとつ」に目指して、まちづくりを進めていく考えである。

本市のさらなる発展に向け、日々前進を胸に市政運営に取り組んでいく。

議員 ①総務省の消防力の整備指針に基づく市内に必要な消防

②避難所におけるペット対応マニュアルを定めてはどうか。

④今後の対応について伺う。

市長 ①ケージの活用等では、これまでの訓練を踏まえた対応が図れた。

②13カ所の避難場所ケージに入れていただき受け入れた。スペース確保や大型犬への対応等、整理すべき点が確認された。

③マニュアルの策定を検討していく。

④飼い主の責務の浸透を図るとともに、対応可能な避難場所の提供に取り組んでいくことが重要である。課題を整理し、環境づくりに努めていく。

議員 ①地域で活躍する女性をどう捉えているか。女性活躍社会の推進における社会教育の重要性の見解を伺う。

副市長 ②密閉型の喫煙所が理想ではあるが、まずは都の補助金を活用し、青梅駅等の喫煙所へのパーテーション設置を優先していただく考えである。

議員 ①先の市長選挙では、積極的な支持2割という結果であったが、今後どう支持を増やしていくのか。

②築いてきた基盤をどう「つながら」よう取り組むのか。

市長 ①市民からいただいた様々な意見は正面から受け止め、人口推移に影響を与えるまでに至っていない。第2期総合戦略では、新たな事業の追加、KPIの見直し、市民参加の推進を図り、目標人口を維持できるように取り組み、青梅ならではの地方創生を図っていく。

②関係人口を創出する取り組みは、地方創生の推進に当たり重要な柱となるとともに、今まで気がつかなかった本市の魅力が発見する契機にもなり得るものと考えている。関係人口を獲得し、これまでとは異なる視点のまちづくりの担い手を増やすことで、本市のさらなる飛躍を図る。

議員 ①今回の台風第19号では、ペット同行避難についてこれまでの訓練をどう生かしたのか。

②ペットを同伴できる避難場所を設けたのか。課題はあるか。

副市長 ②密閉型の喫煙所が理想ではあるが、まずは都の補助金を活用し、青梅駅等の喫煙所へのパーテーション設置を優先していただく考えである。

議員 ①先の市長選挙では、積極的な支持2割という結果であったが、今後どう支持を増やしていくのか。

②築いてきた基盤をどう「つながら」よう取り組むのか。

市長 ①市民からいただいた様々な意見は正面から受け止め、人口推移に影響を与えるまでに至っていない。第2期総合戦略では、新たな事業の追加、KPIの見直し、市民参加の推進を図り、目標人口を維持できるように取り組み、青梅ならではの地方創生を図っていく。

②関係人口を創出する取り組みは、地方創生の推進に当たり重要な柱となるとともに、今まで気がつかなかった本市の魅力が発見する契機にもなり得るものと考えている。関係人口を獲得し、これまでとは異なる視点のまちづくりの担い手を増やすことで、本市のさらなる飛躍を図る。

議員 ①今回の台風第19号では、ペット同行避難についてこれまでの訓練をどう生かしたのか。

②ペットを同伴できる避難場所を設けたのか。課題はあるか。

審議された議案と議決結果

賛否が分かれた議案

[○…賛成、×…反対]

Table with columns for district, proposal number, proposal name, decision result, and individual council members' votes (賛成/反対).

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属8人、自民党3人)、公明…公明党(5人)、市フ…市民フォーラム青梅(無所属2人、国民民主党1人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、みどり…みどりのオンプズマン(1人)、立憲…立憲民主党(1人)]

全会一致で可決された議案

Table listing unanimous proposals with columns for district, proposal number, and proposal name.

※市長提出議案、議案第64号「青梅市営共同利用工場条例等の一部を改正する条例」は全会一致で撤回承認となりました。

\* 議案等の詳細は市議会ホームページで確認できます。また、本会議・委員会の会議録や本会議の映像も配信していますのでご覧ください。



審議結果：趣旨採択
「骨髄移植等によりワケチンの再接種が必要となつた方の接種費用助成制度の創設」についての意見書を政府に提出することを求める陳情

陳情結果の審議結果

◆第4回委員会(12月9日)
付託事件(議案第66号青梅市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例)：原案可決
○南棟、南別館の閉鎖に伴う移転作業および解体工事について
○実施設計の完了に伴う事業費について
○新病院建設工事発注に向けた今後の予定について

総合病院建替特別委員会

◆第5回委員会(12月24日)
○郵送アンケート調査結果について等
○東青梅駅の改築について

東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

◆第4回委員会(12月9日)
○東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用等の検討状況について

特別委員会から

12月定例議会期間中に行われた特別委員会での主な検討事項等をお知らせします。

全員協議会から

12月16日に開催された全員協議会での市長提出事項は次のとおりです。

普通救命講習を受講しました

12月17日に青梅市災害対応方針にもつき、「普通救命講習会」が行われ、15名の議員が受講しました。



東京消防団の方々からご指導いただき、万一の事態に備えるための心肺蘇生法等と併せてAEDの取り扱いについても学びました。

Table titled '令和元年市議会定例会 令和2年2月定例議会会議予定' showing dates, times, and meeting topics.

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか青梅市議会ホームページ(https://www.gikai-omacity.tokyo/)でご確認ください。

Graphic with text: 政治家、有権者の方々へ 贈らない 求めない 受け取らない